



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2017
平成29年
12-20
No.544

「すかい」(sky: 空) は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

月例調査レポート



長野市
長野県立大学
三輪キャンパス

来春、新しい4年制の大学として開学する「長野県立大学」の三輪キャンパス。善光寺、城山公園に近い閑静な環境にあり、周辺との調和の観点から3階建てを基本に一部に2・4階建てを組み合わせた施設はシックに街に溶け込んでいます。

「街全体がキャンパス」をコンセプトに地域住民との多様な交流を目指し、「街に若者が来ると、街が元気になっていい」「地域活性化の起爆剤として効果を期待する」等の声も聞こえてきます。

- 長野しんきん 月例調査レポート 2
- 企業アンケート「IT(情報技術)活用」③ 6

あなたに元気、まちに活気。



長野信用金庫

長野県は1.69倍

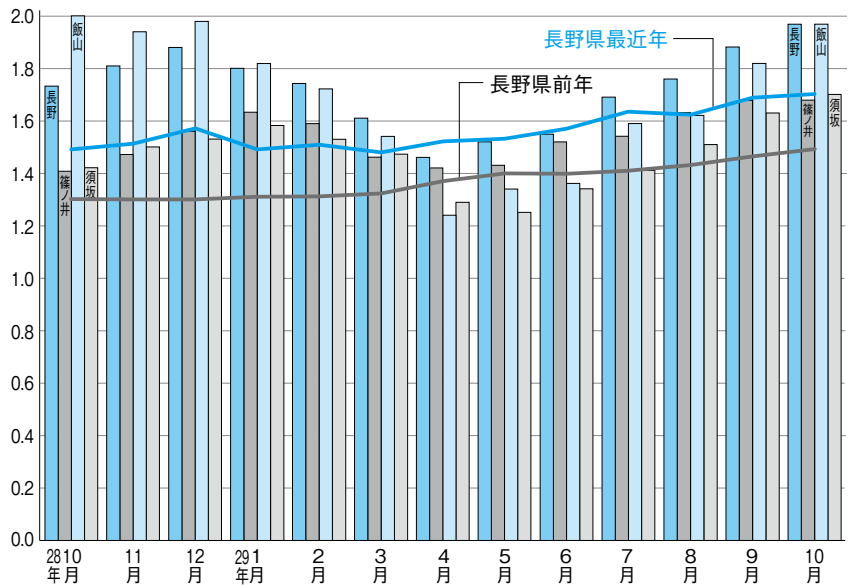
北信は1.86倍

平成29年10月の長野県の有効求人倍率(パートタイムを含む・季節調整値)は1.69倍となり、前月を0.01ポイント上回りました。

10月の新規求人数は19,984人(前年同月比+3.9%)、新規求職者数は7,395人(同▲3.6%)となっています。

長野県の有効求人倍率(季節調整値)と北信4公共職業安定所の有効求人倍率(実数値)の推移は、右表のとおりです。

●北信4ハローワークの有効求人倍率の推移 (資料: 長野県労働局)



長野県の有効求人倍率の推移 (季節調整値)

28年10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
1.49	1.51	1.57	1.49	1.51	1.48	1.52	1.53	1.57	1.63	1.62	1.68	1.69

月例調査

全産業の「売上高」は横ばい

前回調査 平成29年10月

◇11月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(33

%)が1ポイント増加、「減少」割合(28%)が横ばい、「不変」割合(39%)が1ポイント減少し、全体としては横ばいの状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比(2ポイント以上の動き)

↑ 増加 → 不変 ↓ 減少
 ↗ 改善 ↖ 不変 ↘ 悪化

全産業 (不動産業・旅館業を除く)	前回			今回			割合
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	
前 回	32.4	39.9	27.7				
今 回	33.3	38.5	28.2	増加 →	不変 →	減少 →	
製造業	49.3	26.8	23.9				
建設業	34.3	41.8	23.9				
卸小売業	12.2	51.1	36.7				
サービス業	66.7	33.3	0.0				
輸送業	12.5	25.0	62.5				
外食業	8.3	50.0	41.7				

214社(回収率83.9%)	
30人未満	74.8%
30人以上	25.2%

217社(回収率85.8%)	
30人未満	72.8%
30人以上	27.2%

71社(回収率79.8%)	
30人未満	64.8%
30人以上	35.2%

68社(回収率93.2%)	
30人未満	83.8%
30人以上	16.2%

49社(回収率84.5%)	
30人未満	83.7%
30人以上	16.3%

9社(回収率90.0%)	
30人未満	66.7%
30人以上	33.3%

8社(回収率72.7%)	
30人未満	12.5%
30人以上	87.5%

12社(回収率100.0%)	
30人未満	58.3%
30人以上	41.7%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」金属加工・一般機械・精密機械が増加し、全体も増加

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(49%)が12ポイント増加、「減少」割合(24%)が1ポイント減少、「不変」割合(27%)が11ポイント減少し、全体としては増加の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	36.8	38.2	25.0
	今回	増加 49.3	不変 26.8	減少 23.9
食料品		46.7	33.3	20.0
金属加工		57.1	21.5	21.4
一般機械		63.6	27.3	9.1
電気機械		33.3	50.0	16.7
自動車部品		33.3	0.0	66.7
精密機械		50.0	16.7	33.3

【業種別】 増加…金属加工・一般機械・精密機械

横ばい…電気機械・自動車部品

減少…食料品

【機械稼働】 (前回比) 稼働率 下降

上昇割合 (34%) → 27%

下降割合 (17%) → 14%

【受注状況】 受注量(前回比) 増加

増加割合 (24%) → 25%

減少割合 (21%) → 10%

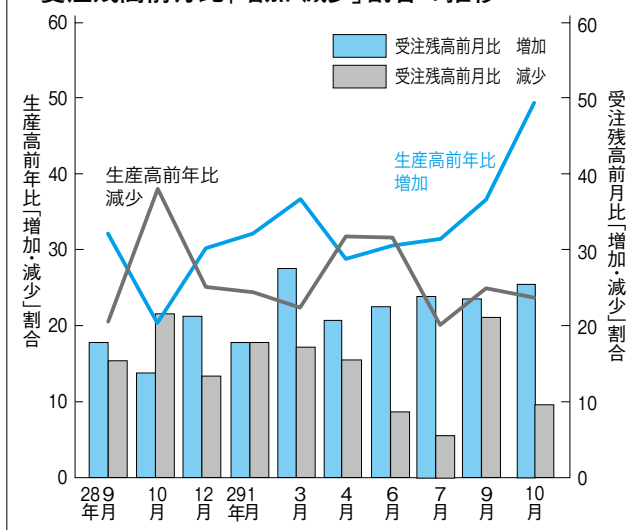
受注残高(1.9ヵ月) → 4.7ヵ月

【受注基調】 (前回比) 上昇

上昇割合 (33%) → 30%

下降割合 (20%) → 9%

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(%)資料:当金庫



企業からのコメント

☆冬場に向け需要は高まっている。(こんにゃく・麴)

☆歳暮の前倒しで売上は好調。(そば製品)

★☆気候変動が激しく、盆明けから動きが鈍ったが、“旬”製品の出回りで盛り返しつつある。(麺製品)

☆国内の需要増加により12月まで一時的に増加。

(輸送用機器部品)

☆9月までフル稼働だったが、10月は一服感があり、11～4月は上向く予測。(圧縮機)

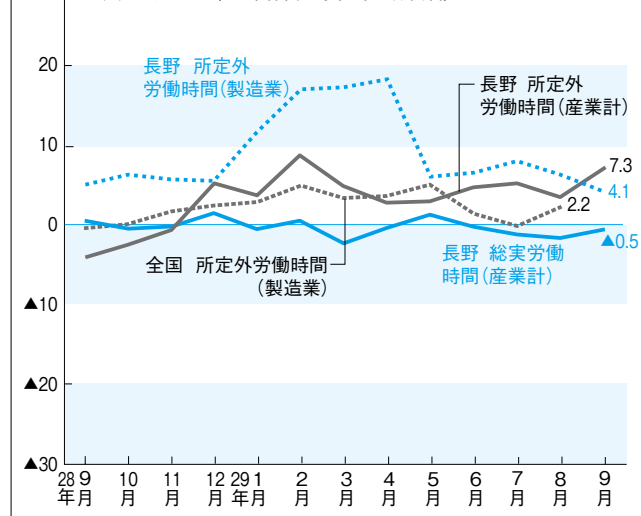
☆木工機械展出展の成果が大きい。縁貼機の注文のほかに他機械の引き合いも多い。(一般機械)

★きのこ生産者の出荷単価は前年比100gあたり3円安のため、設備投資意欲は低調。(きのこ栽培機械)

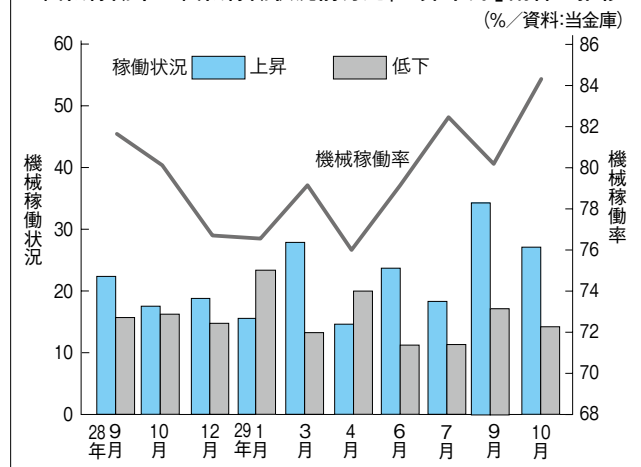
☆液晶関連装置は順調。スマホ関連装置は一息で、増加の見通し。(液晶関連・半導体関連装置)

●長野県の労働時間の動き<前年同月比>

規模30人以上(%)資料:長野県・厚生労働省



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移(%)資料:当金庫



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」総合建設は増加したが、全体は減少

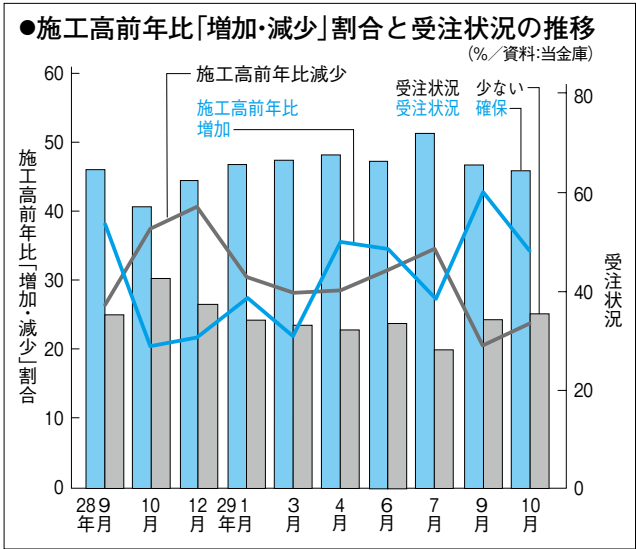
概況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(34%)が9割減少、「減少」割合(24%)が3割増加、「不変」割合(42%)が5割増加し、全体としては減少の状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	42.9	36.5	20.6
	今回	増加 34.3	不変 41.8	減少 23.9
総合建設業		50.0	41.7	8.3
土木工事業		18.2	45.4	36.4
建築業		26.1	39.1	34.8
各種設備業		41.7	50.0	8.3

業種別	増加…総合建設
	減少…土木工事・建築・各種設備
受注状況	受注残高(前回比) 悪化
	「多い・適正」割合 (66%) → 64%
	「少ない」割合 (34%) → 36%



企業からのコメント

- ★☆☆新築工事が少なくリフォームが多い。(総合建設)
- ★新卒と中途採用をハローワークや新聞で募集するが問い合わせすら来ない。
- ☆★★コンスタントに工事物件の引き合いはあるが、決定に3～6カ月を要する。(以上給排水設備)
- ☆★★1～4月の受注・引き合いは関東地区を除き、近年になく少ない。(内装仕上)

4～10月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4～10月の発注合計は、1,445.0億円(前年同期比+21.1%)となりました。前年比プラスは、「国」の209.4億円(同+6.3%)、「県」の285.3億円(同+3.9%)、「そのほか」の367.3億円(同+240.3%)で、マイナスは「市町村」の462.5億円(▲5.5%)です。

北信地区市町村の発注合計は183.6億円(同+8.6%)で、うち長野市は86.5億円(同▲22.5%)でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(平成29年10月/29年4～10月累計)
(単位=百万円/資料: 東日本建設業保証株)

		29年10月	前年同月比	29年4～10月	前年同期比
長野県	国	1,533	0.7%	20,940	6.3%
	県	4,170	▲11.1%	28,534	3.9%
	市町村	6,052	21.4%	46,250	▲5.5%
	そのほか	347	▲55.8%	36,727	240.3%
	合計	14,028	16.3%	144,505	21.1%
北信	市町村	1,477	▲0.2%	18,358	8.6%
	(内長野市)	1,065	10.3%	8,654	▲22.5%

4～10月の新設住宅着工戸数

長野県の4～10月の新設住宅着工戸数は7,390戸(前年同月比▲0.4%)でした。持家が4,264戸(同▲1.7%)、貸家が2,156戸(同▲5.9%)、分譲が949戸(同+22.3%)、給与が21戸(同+110.0%)です。

北信地区の4～10月の新設住宅着工戸数は2,143戸(同▲7.0%)でした。持家が1,213戸(同▲6.3%)、貸家が656戸(同▲8.1%)、分譲が270戸(同▲8.2%)、給与が4戸(同+300.0%)です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数
(平成29年10月/29年4～10月累計) (資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	10月	163戸	157戸	21戸	0戸	341戸
	(内長野市)	103戸	153戸	10戸	0戸	266戸
	前年同月比	14.8%	49.5%	0.0%	—	27.2%
	(内長野市)	22.6%	48.5%	▲37.5%	—	31.0%
	4～10月	1,213戸	656戸	270戸	4戸	2,143戸
	前年同期比	▲6.3%	▲8.1%	▲8.2%	300.0%	▲7.0%
長野県	10月	577戸	322戸	151戸	0戸	1,050戸
	前年同月比	5.5%	▲0.6%	69.7%	▲100.0%	8.6%
	4～10月	4,264戸	2,156戸	949戸	21戸	7,390戸
	前年同期比	▲1.7%	▲5.9%	22.3%	110.0%	▲0.4%

卸小売業

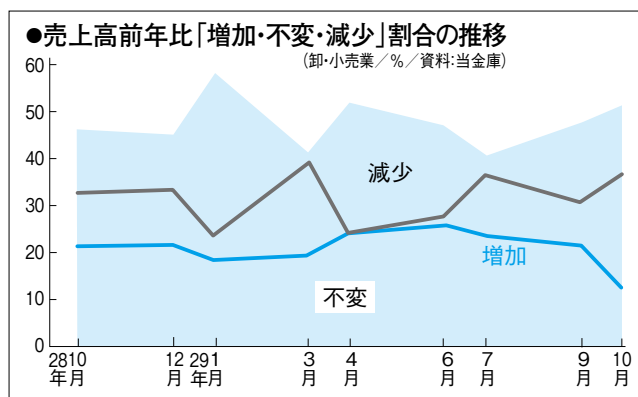
卸売業、小売業

「売上高」卸売・小売ともに減少

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(12%)が10ポイント減少、「減少」割合(37%)が6ポイント増加、「不変」割合(51%)が3ポイント増加し、全体として売上は減少の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	21.7	47.9	30.4
	今回	増加 12.2	不変 51.1	減少 36.7
卸売業		10.0	55.0	35.0
小売業		13.8	48.3	37.9



【業種別】減少…卸売業・小売業

10月の消費者物価指数(長野市) 平成27年基準=100

◇総合指数(確報値)……100.9(13カ月連続のプラス)

(前月比±0.0%、前年同月比+0.8%)

上昇…「家具・家事用品」「被服及び履物」「交通・通信」

下落…「食料」「保健医療」

◇生鮮食品を除く総合指数…101.0(10カ月連続のプラス)

(前月比+0.3%、前年同月比+1.4%)

企業からのコメント

- ★メーカーは、必要な時、必要な分だけ仕入れるようになってきている。(健康食品卸売)
- ★景気の良いのは大手ばかりで、相変わらず動きがない。(機械工具卸売)
- ★近隣の高齢者が介護施設等に入所したので、歩いてのお客さんが減ってきた。(和菓子卸・小売)
- ★天候不順で客の出控えが目立つとともに、節約志向は依然として続いている。(生鮮食料品小売)
- ☆販売イベントなどが功を奏し、10月は暖房用エアコンなどの消費が上向いた。(家電小売)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」サービス・輸送が増加し、全体も増加

サービス業 売上高前年比「増加」割合は29ポイント増加の67%、「減少」割合は25ポイント減少の0%、「不変」割合は4ポイント減少の33%と、売上は増加しています。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は13ポイント増加の13%、「減少」割合は15ポイント減少の63%、「不変」割合は3ポイント増加の25%と、売上は増加の状況です。タクシーは横ばい、運送は増加の状況です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は1ポイント減少の8%、「減少」割合は5ポイント増加の42%、「不変」割合は5ポイント減少の50%と、売上は減少しています。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比29ポイントの増加、前年同月比は4ポイントの増加で、宿泊利用は持ち直しています。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は27ポイント減少の27%、「引合いや増加」は5ポイント増加の36%でした。

企業からのコメント

- ★乗務員の高齢化と人手不足が大きな課題。(タクシー)
- ★燃料価格のさらなる上昇が懸念材料。運賃・料金の値上げも、今のところごく一部にとどまる。(運輸)
- ☆★10月中旬からツアー客が連日集客できたので、売上は増加した。ただし、客単価は低下。(観光)
- ★☆2週連続の台風で各地に災害が発生、7月の豪雨災害の追い込み中の対応となり、通常の契約業務が遅れている。(建設コンサルタント・測量)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	37.5	37.5	25.0
	今回	増加 66.7	不変 33.3	減少 0.0
輸送業	前回	0.0	22.2	77.8
	今回	12.5	25.0	62.5
うちタクシー業		0.0	0.0	100.0
うち運送業		25.0	50.0	25.0
外食業	前回	9.1	54.5	36.4
	今回	8.3	50.0	41.7

IT活用の課題 1位「人材の不足」5割 2位「情報セキュリティ対策」3割

企業アンケート IT(情報技術)活用 ③ 29年9月調査

IT活用の課題 5割の企業が「ITに対応できる人材の不足」を、3割の企業が「情報セキュリティ対策」をあげています。

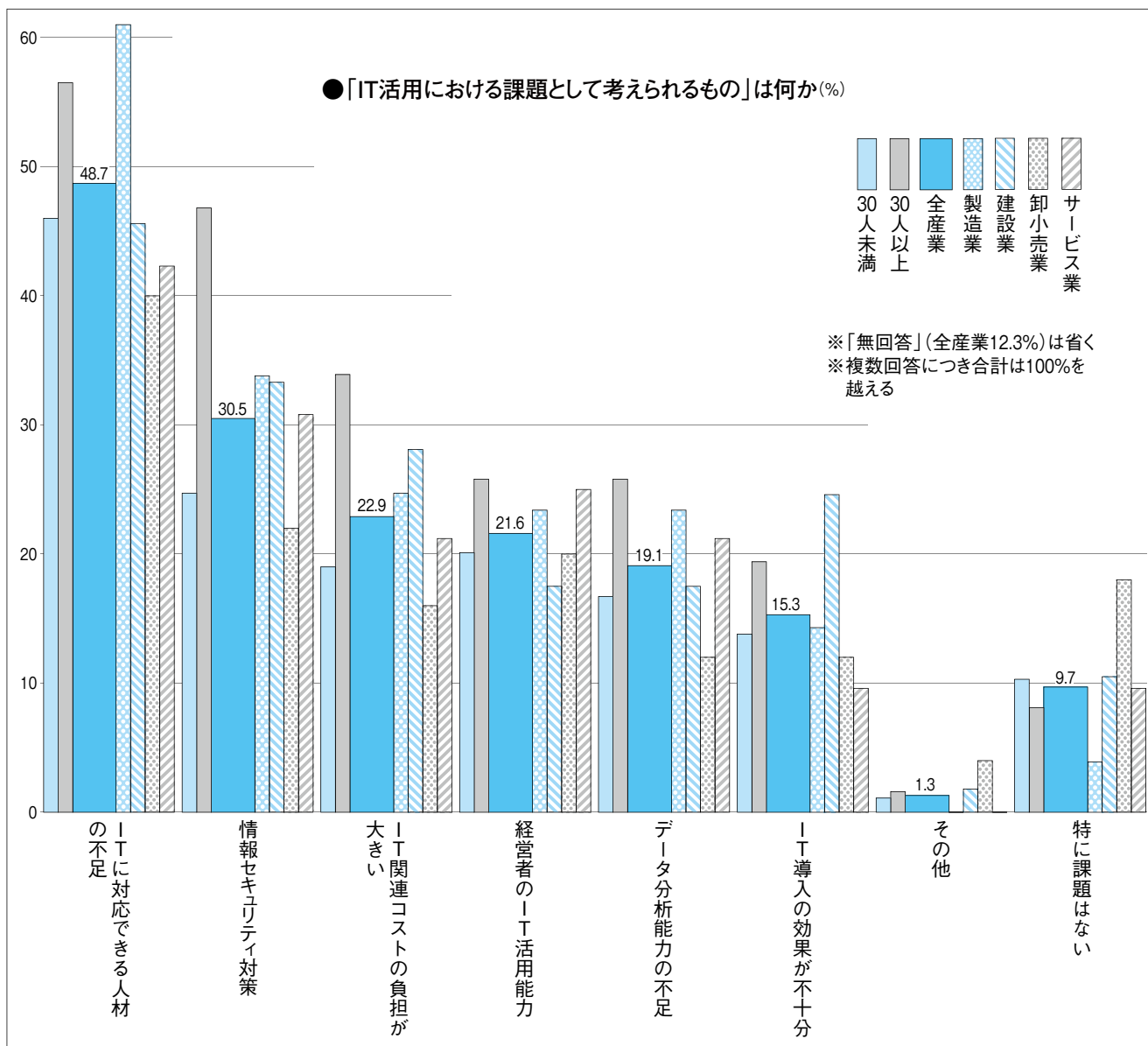
3位「コストの負担が大きい」23%

4位「経営者のIT活用能力」22%

5割近い企業が「ITに対応できる人材の不足」を、3割強の企業が「情報セキュリティ対策」をあげました。ほかに「IT関連コストの負担が大きい」(23%)、「経営者のIT活用能力」(22%)、「データ分析能力の不足」(19%)、「IT導入の効果が不十分」(15%)が2ケタとなっています。「特に課題はない」は10%でした。

従業員規模で比べると、30人以上が軒並み6～22%、30人未満より高くなっています。

「IT活用における課題として考えられるものは何か(主なもの3つ以内)」を聞きました。



業種別

「ITに対応できる人材の不足」製造61%

「IT関連コストの負担が大きい」建設28%

「特に課題はない」卸小売18%

「経営者のIT活用能力」サービス25%

◇4業種

製造業 「ITに対応できる人材の不足」(61%)、「情報セキュリティ対策」(34%)、「データ分析能力の不足」(23%)は他業種に比べ最も高くなりました。他方、「特に課題はない」(4%)は他業種に比べ最も低くなっています。

建設業 「IT関連コストの負担が大きい」(28%)と「IT導入の効果が不十分」(25%)は他業種に比べ最も高く、「情報セキュリティ対策」(33%)は製造業に次いで高くなりました。他方、「経営者

のIT活用能力」(18%)は他業種に比べ最も低くなっています。

卸小売業 「特に課題はない」(18%)は他業種に比べ最も高くなりました。他方、「ITに対応できる人材の不足」(40%)、「情報セキュリティ対策」(22%)、「IT関連コストの負担が大きい」(16%)、「データ分析能力の不足」(12%)は他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業 「経営者のIT活用能力」(25%)は他業種に比べ最も高く、「データ分析能力の不足」(21%)は製造業に次いで高くなりました。他方、「IT導入の効果が不十分」(10%)は他業種に比べ最も低く、「ITに対応できる人材の不足」(42%)は卸小売業に次いで低くなりました。

◇次号は「30年の経営見通し」を予定

「IT活用」に関する企業からのコメント

製造業

◇ホームページの内容を充実させ、県外企業へのアプローチに力を入れたい。(一般機械)

◇フル活用とまではいかないが、徐々に活用を進めている。対応できる人材の育成が難しい。

(シール・ラベル)

◇取引先(販売・仕入)の発注・受注方法などのIT化に伴い、それぞれに対応が必要となり、コストが発生する場合もあって、管理が大変である。

(プラスチック製品・金型)

◇確実にITが社会を動かすツールになってきているが、どれだけの効果につながるか、自社に物差しがなく、投資の計画を立てにくいのが現状。

(精密機械)

◇販売に関してはITの活用が成果を上げているが、製造部門での活用が遅れている。(味噌・漬物)

◇実際のIT活用は、価格面や栄養成分などまだ分野が狭いので、広げていきたい。(なめ茸・総菜)

◇味の追求は、なかなかITで伝わりにくく、苦戦している面もある。(そば・そば粉)

建設業

◇全社統一したレベルでIT活用ができればよいと思う。今後さらにITは重要と考える。

◇業界として、ITに精通している人材を確保するのが困難。希望する分野はあるが、費用がかかる

ことから、導入が遅れることが多い。

◇今後大いに活用していきたい。機材の入れ替えの時期を見極めて、人材の育成も行っていく。

◇ほんの少し手間が省けるくらいで、あまり効果はないと思う。(以上総合建設)

卸小売業

◇いろいろなソフトを業者に問い合わせたり作成を依頼したりするが、素人にわかるように説明し、簡単に作れる業者がいない。(青果物卸売)

◇物販・宣伝を効果的に行うには、中小企業にとってコストが大きすぎる。(土産品小売・飲食)

◇Eメールによる情報展開量が増加しすぎるので、情報の集約を図ることが課題。(自動車販売・整備)

◇不安材料が多すぎて、手を出したくない。(包装材料)

サービス業

◇ITが便利であることは理解するが、無駄な投資をすることはできない。

◇今後、世代交代時にはITの活用を検討していく。現状は昔からのスタイルに特化している。

◇ITは日進月歩であって、変化に対応していくのが困難。(以上旅館)

◇一般的なIT活用は行っていると思うが、その先がわからない。業種にあった事例がほしい。

(測量・建設コンサルタント)

購入したもの
購入したいもの

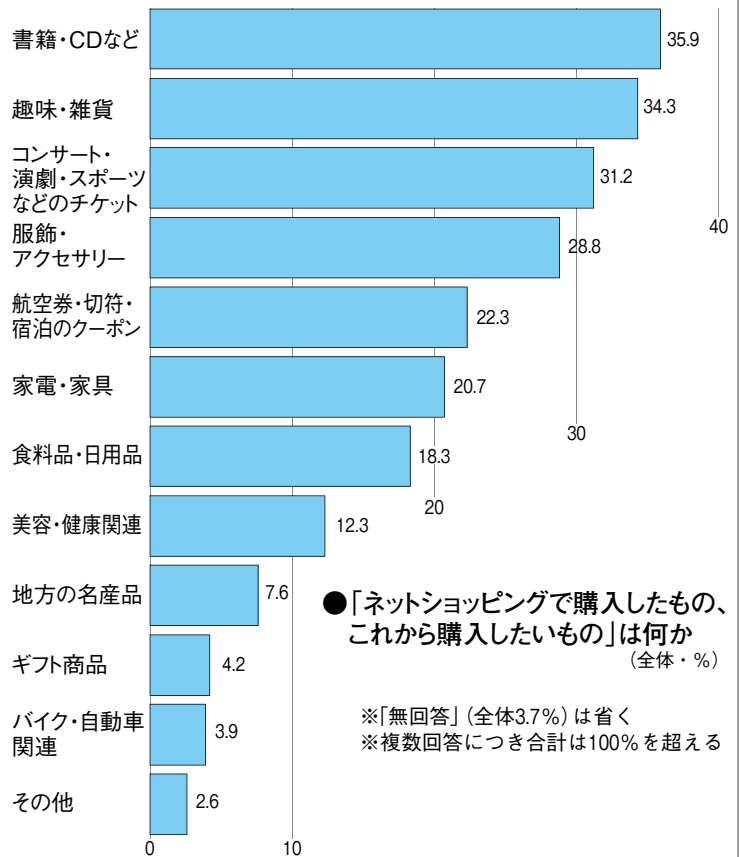
「書籍・CD」36%
「趣味・雑貨」34%
「コンサート・演劇・スポーツのチケット」31%

「ネットショッピングで購入したもの、これから購入したいものは何か(主なもの3つ以内)」を聞きました。

3割台に「書籍・CD」「趣味・雑貨」「コンサート・演劇・スポーツのチケット」、2割台に「服飾・アクセサリ」「航空券・切符・宿泊のクーポン」「家電・家具」、1割台に「食料品・日用品」「美容・健康関連」があがりました。

全体と比べ5割以上高いのは、男性は「書籍・CD」、女性は「服飾・アクセサリ」「美容・健康関連」です。10～20代は「趣味・雑貨」「書籍・CD」「コンサート・演劇・スポーツのチケット」「服飾・アクセサリ」「美容・健康関連」、30～40代は「服飾・アクセサリ」、50代以上は「食料品・日用品」「地方の名産品」が高くなっています。

〈当金庫・29年9月調査〉



●「ネットショッピングで購入したもの、これから購入したいもの」は何か
(全体・%)

※「無回答」(全体3.7%)は省く
※複数回答につき合計は100%を超える

●みなさまの経営相談のご案内[1月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
1月 9日 火	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	1月 22日 月	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)
11日 木	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	23日 火	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
12日 金	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	25日 木	大門町支店 (桜枝町支店)	
16日 火	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	26日 金	本店営業部	善光寺下支店 (権堂支店)
17日 水	大豆島支店 (長池支店)		30日 火	本部	
18日 木	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	31日 水	本部	

●1月の「しんきん事業相談会」は1月10日(水)です

長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

●「すかい」は長野信用金庫のホームページでもご覧いただけます●

